

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 広島県三次市立安田小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 729-4203
広島県三次市吉舎町安田1742番地

E-mail : yashuda-e@city.miyoshi.hiroshima.jp
 Website : www.miyoshi-yasuda-e.hiroshima-c.ed.jp

児童生徒数：男子 8 名 女子 4 名 合計 12 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 地域の自然（生命）・人（思い）を未来へつなぐ

～安田ESDカリキュラムの充実～

【取組内容】

昨年度に引き続き、地域の素材や学習の足跡を持続発展教育の関連性やつながりの視点で整理した「安田ESDカリキュラム」をもとに取組を進めた。そのカリキュラムをもとに、絶滅危惧種である「ダルマガエルの生態調査」、地域の自然や素材を生かし水生生物の研究・身の回りの昆虫の調査などの「環境学習」を行いその結果を「科学研究」としてまとめ、三次市科学賞、広島県科学賞へ応募した。また、今年度も「夏のくらし発表会」「学習発表会」を地域や保護者への発信の場として位置づけ、その経過や結果などを環境保全の大切さと関連させながら報告した。

【取組結果と評価】

○三次市科学賞では、全学年・学級で調査しまとめた5作品のうち4作品が賞に入り、広島県科学賞においても入選した。

○アンケート等による評価結果（保護者・地域アンケートから）

「大きな声ではっきりと発表していた。」や「堂々と自分を発揮できる力や相手に伝える力が身についていた。」の項目においていずれも肯定的評価100%

【記述】

- ・子どもたちの発表力はすごいと思いました。少人数の学校でも他の学校にひけはとりません。頼もしく思いました。学習発表会には必ず参加して答えを知りたいです。
- ・よく調べ、わかりやすく発表していると思いました。
- ・発表に児童それぞれが工夫していました。自分たちの生活の中から発想や将来の夢などが語られたところが良かった。

(児童アンケートから)

「生き物や自然を見て不思議だな・すばらしいと感じることがありますか。」や「身の回りの自然について調べてみたいと思いますか。」の項目においていずれも肯定的評価100%

川学習（7月4日）



これらの活動を通して、

- 多面的に考えたり、総合的に考えたりする力
《多面》
 - 地域を愛する心情をもち、実行していく力
《関連・参加》
 - 聞き手を意識しながら伝える力
《伝達》
 - 他者と協力しながら進めていく態度
《協力》
- 等が身についてきた。

2 地域の自然環境を守る ～体験活動を重視した取組の充実～

「安田子ども自然ガイド」

【取組内容】

地域の自然を素材に、全校児童が3つの縦割り班に分かれ安田の里の自然をガイドする「安田子ども自然ガイド」を実施した。

第1回安田子ども自然ガイド（4月26日）



第2回安田子ども自然ガイド（6月26日）



第3回安田子ども自然ガイド（3月3日）



【取組結果と評価】

○アンケートによる評価結果（地域・保護者）

「子どもたちは、相手を意識した説明をしていた。」の項目において、3回のガイドとも肯定的評価が100%であった。

（記述から）

- ・懸命にしっかり大きな声で説明していました。熱くなりました。
- ・子どもたちはしっかりと発表・説明してくれました。
- ・いつも思うのですが、大変よく調べています。感心しています。
- ・雨の中、子どもたちの頑張りが伝わり感激です。今までで一番でした。
- ・春夏とも参加させてもらい、子どもたちが成長していく姿が見えました。
- ・子どもの振り返りから次の目標を考えさせるとともに目標を達成させるためにはそうするのか明確にさせて取り組んでもらいたい。
- ・より良い説明をしようという意識が最初から最後まで感じられて本当に感心しました。 等

「安田クリーン活動」

【取組内容】

縦割り班を活用し、備後安田駅の掃除や道路沿いのごみ拾いを年2回行い、3学期には、1年間の活動を振り返り、取組をまとめた。

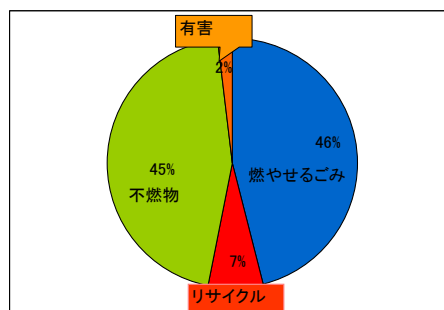
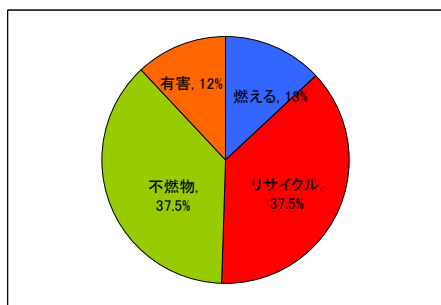
第1回クリーン活動（6月17日）



第2回クリーン活動（10月29日）



第3回クリーン活動（2月19日：年間活動のまとめ）



【取組結果と評価】

児童記述から

- 絶滅危惧種のダルマガエルがいる安田をもっときれいにしたい。
- ごみをなくして自然をよくしていきたい。
- 地域の人と協力して環境を守りたい。訴えるために看板などを作りたい。
- クリーン活動を通して、自分でもごみを捨てないようにする。
- たばこの吸殻などを捨てる人が多いと分かった。捨てないのはもちろんだが、ごみを見つけたら拾いたい。
- みんなが使う場所をきれいにして、うれしかった。
- 駅を利用する人が喜んでくれると思う。
- 前回よりもごみの量は少なかったが、燃やせるごみ中でたばこの吸殻が25gもあり残念だった。ごみのほとんどは、黒鞆峠の待避所にあり、看板などを設置し呼びかけていきたい。

「ダルマランドで米作り」

【取組内容】

全校で地域の方の協力のもと5月に田植え、7月8月に稲の世話、9月に稲刈りと脱穀を行い、2月にはもちつき集会を実施した。

田植え（5月13日）



稲刈り（9月13日）



脱穀（9月18日）



もちつき集会（2月9日）



【総合評価】

児童感想・意見から

- 「安田のことが好きですか。」という問いに対して、児童の肯定的評価は、100%であった。
- 「安田地域のどこが好きですか。」という問いに対して、児童全員が豊かな自然 地域の人々 ダルマガエルやユキワリイチゲ等の貴重な動植物 等 と答えた。
- 「安田の自然を守るためにあなたがしていることがありますか。」という問いに対して児童は、動植物を大切にしている。ごみを捨てない。クリーン活動を頑張る。ごみを見つけたら拾う。ダルマガエル調査を毎年行いたい。と答えた。

これらの活動を通して、多面的に考える力《多面》、他者と協力して活動したりする態度《協力》、何より地域を愛する心情をもち、実行していく力《関連・参加》が一層高まってきた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）